

名家連ニュース

平成 27 年 8 月 24 日 (月)
発行：特定非営利活動法人
名古屋市精神障害者家族会連合会
会長 堀場 洋二
TEL/FAX (052) 411-2890 NO. 370 号

精神障害者が余儀なくされた戦争—新聞報道の紹介!!

西日本新聞—「障害者安楽死計画」—

「第 2 次世界大戦中、ナチス・ドイツはユダヤ人虐殺の前に、精神障害者を「安楽死」させる抹殺計画（T4 計画）を実行していた。」

西日本新聞—「精神障害かなわぬ復員」—

戦時中、精神障害兵士の療養所として、武蔵療養所（現在の国立精神・神経医療研究センター）などが運営されていた。戦争が長期化すると、戦場の恐怖や上官の制裁などで精神疾患になる兵士が増え、肥前療養所（現在の肥前精神医療センター）の建設が勧められた。

中日新聞—語られなかった戦争—

精神障害となった元日本兵は「未復員兵」と呼

ばれていた。武蔵療養所の 300 床の布団は心を病んだ元兵士たちであふれていた。頑丈な扉で施錠され、病棟の窓は格子がはめられていた。

京都福祉新聞—悲惨、戦時下の精神障がい者—

日本軍は「障害者がアメリカ軍につかまった場合、結果的にスパイの役割を果たす」とみなされ、スパイの嫌疑をかけられて殺害された人々も少なからずいた。



かろうじて戦争を生き延びた人々も、地上戦の地獄の極限体験から発病したり、戦争後遺症に苦しむ人々の自殺が絶えなかった。

必見!!

シリーズ 「戦後 70 年・障害者と戦争」 放映

NHKEテレ「ハートネットTV」 8 月 25 日 (火)・26 日 (水) 午後 8 時から
再放送は 9 月 1 日 (火) 2 日 (水) の午後 1 時 5 分から

ユダヤ人の大虐殺（ホロコースト）より前に、20 万人の障害者が虐殺されていた。この計画は、ドイツ国内 6 つの施設で実行され、50 人の精神科医が動員されました。

藤井克徳さんが現地を訪ね、当時を知る人々と対話します。日本においても、戦時下、障害者は非国民、ごくつぶしと罵られ、人間扱いされませんでした。

役立たない者の生存を否定する戦争、新たな障害者をつくりだす戦争。戦争の残虐性と平和の尊さ、国会の安保法制について考えさせられる放映内容です。

「障害者の権利・自由・平等を守る行動」の参加案内

障害者団体は、戦争のない平和な社会を希求しています。愛知障害フォーラムとしても、この行動を紹介し、参加を呼びかけることにしました。

9 月 1 1 日 (金) 栄広場 (三越北)

16:00~ マラソンスピーチ 17:00~ 集会・デモ

呼びかけ：愛障協・きょうされん愛知支部・全障研愛知支部

